

広田 純教授の略歴および業績目録

1925年10月21日生

学 歴

1942年4月 第一高等学校文科乙類入学
 1944年9月 同校卒業
 1944年10月 東北帝国大学理学部数学科入学
 1946年3月 同大学退学
 1946年4月 東京大学経済学部経済学科入学
 1949年3月 同大学卒業
 1949年4月 同大学大学院特別研究生
 1954年3月 同大学院修了

職 歴

1955年4月 立教大学経済学部講師
 1957年4月 同上助教授
 1965年4月 同上教授
 1975年4月 立教大学経済学部長兼大学院経済学研究科委員長,
 学校法人立教学院評議員 (77年3月まで)
 1991年3月 同大学を定年退職
 1991年6月 同大学名誉教授

学会における活動

経済統計学会運営委員, 日本統計学会評議員, 経済理論学会会員, 経済学史学会会員,
 社会主義経済学会会員

研 究 業 績

著 書

1. 統計学 (共編著) 産業統計研究社 1984年3月

訳 書

1. ヴェスロー 統計学の知識 白水社 新訳 1969年2月
 2. イエーツ 標本調査論 (共訳) 東洋経済新報社 1952年11月

論文・書評・その他

1. 標本輪番制 (rotation system) について、『経済学論集』(東京大学) 20—5 1951年4月
2. 国民所得の概念, 『経済評論』 1954年2月
3. 総評調査部編『統計の闘い』(共著), 初版 1954年4月
増訂版 1956年8月
4. 戦後日本における国民所得統計(共著), 『日本資本主義講座』第9巻 岩波書店 1954年8月
5. 配給されている病変米—黄変米問題と輸入米検査(共著), 『自然』10—1 1955年1月
6. 統計論争によせて, 『農林統計調査』5—12 1955年12月
7. 三一年度予算案の問題点, 『日本経済四季報』第12集 大月書店 1956年2月
8. 有沢広己編『統計学の対象と方法—ソヴェト統計学論争の紹介と検討』(共著),
日本評論新社 1956年6月
9. 国民所得論—現行概念の批判, 『講座・近代経済学批判』第3巻 東洋経済新報社
1957年5月
10. 計量経済学批判(共著), 同上
11. ソヴェトにおける統計学論争, 『統計学辞典・増補版』東洋経済新報社 1957年9月
12. 書評 Statistisches Jahrbuch der DDR. 1955, 『統計学』(経済統計研究会)第6号
1958年4月
13. ケネーの「経済表」について, 『立教経済学研究』13—3 1959年12月
14. マルクスの「生産的労働」論, 『立教経済学研究』13—4 1960年2月
15. 「生産的および不生産的労働」について, 『立教経済学研究』16—3 1962年11月
16. 「資本としての貨幣」について—宇野・鈴木両氏の利子論の検討,
『立教経済学研究』18—3 1964年12月, 18—4 1965年2月
17. 生産的労働の理論的性格と範囲—金子ハルオ著『生産的労働と国民所得』をよんで,
『経済評論』 1967年5月
18. 国民資本の評価, 『統計学』(経済統計研究会)第18号 1968年3月
19. 書評 山田喜志夫著『再生産と国民所得の理論』, 『統計学』(経済統計研究会)第19号
1968年9月
20. 利子生み資本と信用—宇野弘蔵氏の見解の批判, 『経済』55号 1968年11月
21. 資本制生産の矛盾と恐慌—宇野弘蔵氏の見解の批判, 『経済』75号 1970年7月
22. 所得とその源泉, 『マルクス主義経済学講座』(下) 新日本出版社 1971年6月
23. 統計学の現状と課題, 『経済』109号 1973年5月
24. 国富に関する統計, 大橋隆憲他編『経済統計』有斐閣 1973年7月
25. 統計とはなにか, 『月刊金属労働資料』(総評全国金属労働組合) 16—7 1973年7月

26. 国民所得統計について, 同上16—9 1973年 9 月
27. 『資本論』第三部第七篇・所得とその源泉, 『経済』121号 1974年 5 月
28. 国民所得論, 『経済学の動向』(上) 東洋経済新報社 1974年11月
29. 国民所得統計・産業連関表によるわが国主要産業の剰余価値率の推計, 『経済』132号
1975年 4 月
30. 推計学批判と社会統計学, 竹内啓編『統計学の未来—推計学とその後の発展』
東京大学出版会 1976年 2 月
31. 生産的労働と不生産的労働—資本主義的生産のもとで労働の受けとる規定,
『資本論を学ぶ』Ⅱ 有斐閣 1977年 7 月
32. 書評 木村太郎著『統計・統計方法・統計学』, 『統計学』(経済統計研究会) 第35号
1978年 9 月
33. 生産的労働・不生産的労働, 『大月・経済学辞典』 1979年 4 月
34. 生産的消費・不生産的消費・個人的消費, 同上
35. 統計方法, 同上
36. 統計の組替え・加工, 同上
37. 資本の有機的構成の推計, 同上
38. マルクス主義と統計—上杉正一郎先生の業績, 『東京経済大学会誌』第125号 1982年 3 月
39. 国民所得論, 『経済学の動向・第二集』 東洋経済新報社 1982年 3 月
40. 書評 アーヴィン他著・伊藤陽一他訳『虚構の統計』, 『エコノミスト』 1983年11月
41. 書評 三潋信邦著『経済統計分類論—職業・産業分類の形成』, 『統計学』
(経済統計研究会) 第46号 1984年 3 月
42. サービスについて, 『資本論体系』月報2号 有斐閣 1984年 5 月
43. 国民所得統計, 三潋信邦他編『経済統計論』有斐閣 1985年 4 月
44. 経済のサービス化・ソフト化, 『住民と自治』(自治体問題研究所) 268号 1985年 8 月
45. 鉄道統計の時系列解析—スト権ストの損害額算定問題, 北海学園大学
『経済論集』36—3 1989年 1 月